

議員研修視察報告書（奈良県御杖村）

1. 研 修 日 令和4年11月21日（月）9：30～17：30

2. 研 修 先 御杖村役場
奈良県宇陀郡御杖村大字菅野368番地

3. 研修参加者

役 職	氏 名
議 長	千福 清英
副議長	井上 浩一
議 員	服部 幸令
議 員	徳丸 初美
議 員	平田 常信
議 員	田村 陽
議 員	藤浦 稔
議会事務局長	柏原 美佳
議会事務局主査	石橋 成元

4. 御杖村役場 研修対応者

御杖村議会副議長	葛城 昌俊
総務課長	中嶋 英樹
むらづくり振興課長	片岡 保昌
産業建設課長補佐	登 隆太郎
議会事務局長	森本 成則

5. 研修目的 御杖村の財政状況、農業政策、まちおこし協力隊について

6. 当日の質疑応答

Q：農地の基盤整備が全体の81%完了しているが、地権者にどのように説明し、理解してもらえたのか。

A：昔は、稲作3反と山林2町があれば、生活ができたが、時代とともに、生活には、現金が必要であり、農業以外に外に働きに行くようになり、

兼業農家が増えてきた結果、農業にかかる負担を少なくすることが、必要になり、農地の集約化が進んだものと思われる。

Q：正規の職員以外に非正規の職員は、何名おられるのか。

A：非正規職員が会計年度任用職員として制度改正されたことにより、正規と非正規の区別がつけにくい状況であるため、少なくとも40名位いる。

Q：創業支援事業について、年間の予算ベースでどのくらいなのか。

A：年間200万円を平成29年度より計上している。

なお、200万円を超える申請があった場合には、村にとって必要な事業であるので、補正をして対応することとしている。

補助額は、3分の2。

Q：農業支援については、非常に積極的に支援されていると思いますが、予算ベースで年間どのくらいか。

A：実績では、ビニールハウスで、400万円、機械で100万円が2名で、200万円ぐらいです。ほうれん草で200万円程度。

Q：年間何千万円ぐらいか。

A：約2,000万円。

Q：農業支援の財源は。

A：主に一般財源。人口も少なく、どれくらいの申請があるのか等の情報が事前に把握できる状況である。農業施策は他の自治体に比べて手厚いと思っている。

Q：千早赤阪村でも地域おこし協力隊を募集して2名が定住しているが、その後は、募集が止まっているが、その原因の一つに、協力隊の住居の確保が問題になっているが、御杖村の住居の確保はどのようにしているのか。

A：比較的新しい空家を改修して住んでいただくということを基本にやっている。

Q：地域おこし協力隊の募集をどのようにしているのか。

A：「ジョイン」というホームページで行っているが、その他には特に行っていない。

Q：観光部門と事業継承部門について、もう少しお聞きしたい。

A：観光部門は、道の駅等の村の観光をインターネット等で宣伝してもらうことを目的に募集した。現在1名が定住。

事業継承部門は、村内の個人事業者は、高齢化等により、事業が継承できなくなる店が多々あるので、何とか事業を継承してもらいたいという思いで募集をした。現在は（株）御杖道の駅で、活躍している。

Q：千早赤阪村では、過去2回近隣市町との合併協議があったが、合併はとん挫したが、御杖村では、近隣市町村との合併議論はなかったのか。

A：御杖村でも、過去2回合併協議会で協議したが、とん挫した。

Q：御杖村には、下水道事業はないのか。

A：無い。

Q：奈良県は、事務の広域化はどのように考えているのか。

A：奈良県では事務で統合していこうとしているが、市町村レベルでは、なかなか進まないのが現状である。

Q：給食センターも一部事務組合で運営されているが、いつからですか。

A：数十年前からになると思う。

御杖村 副議長 挨拶



千福議長 挨拶



総務課長（財政状況）



産業建設課（農業政策）



むらづくり振興課（地域おこし協力隊）



議会事務局長



研修風景





井上副議長 お礼挨拶



集合写真

